

# 第 36 回管理栄養士国家試験・国試にここまで迫る 模擬試験の「的中問題」

昨年度の日本医歯薬研修協会の 模擬試験で出題した問題	第 36 回国家試験出題問題
<p><b>362-13</b> 保健所に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 設置の根拠法は、健康増進法である。                      (2) 全国に約 2,500 か所設置されている。                      (3) すべての市町村に設置が義務付けられている。                      (4) 医師以外の者は保健所長になれない。                      ○(5) 食中毒事故発生時の疫学調査を行う。</p>	<p><b>問 12</b> 地域保健に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 保健所は、医療法に基づいて設置されている。                      (2) 都道府県型の保健所は、800 か所以上ある。                      (3) 市町村保健センターは、広域的、専門的かつ技術的拠点と位置づけられている。                      ○(4) 医師以外の者も、保健所長になることができる。                      (5) 環境衛生の監視は、市町村保健センターの業務である。</p>
<p><b>363-76</b> コレステロールに関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) コレステロールの合成は、主に腎臓で行われる。                      (2) コレステロールは、エネルギー源として利用される。                      (3) コレステロールは、甲状腺ホルモンの原料となる。                      ○(4) 胆汁酸は、回腸で吸収され、再利用される。                      (5) 肝臓のコレステロールは、LDL に取り込まれて血中に分泌される。</p>	<p><b>問 27</b> 消化器に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 味覚は、三叉神経により伝えられる。                      (2) 食道は、分節運動により食べ物を胃に運ぶ。                      (3) 胃酸分泌は、セクレチンにより促進される。                      ○(4) 胆汁酸は、主に回腸で吸収される。                      (5) 排便の中枢は、腰髄にある。</p>
<p><b>361-31</b> 循環器系の構造に関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 肝臓につながる血管は、肝動脈、肝静脈および肝門脈である。                      (2) リンパ管は、鎖骨下静脈角に合流する。                      (3) 肺動脈は、静脈血が流れる。                      (4) 門脈は、静脈血が流れる。                      ×(5) 冠動脈は、大動脈弓から左右 1 本ずつ分枝する。</p>	<p><b>問 29</b> 循環器系の構造と機能に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 心筋は、平滑筋である。                      ○(2) 冠状動脈は、上行大動脈から分岐する。                      (3) 肺動脈を流れる血液は、動脈血である。                      (4) 動脈の容量は、静脈の容量より大きい。                      (5) リンパ(リンパ液)は、鎖骨下動脈に流入する。</p>
<p><b>363-32</b> 甲状腺に関する記述である。誤っているのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) バセドウ病では、抗 TSH 受容体抗体が産生される。                      ×(2) バセドウ病では、嚔声がみられる。                      (3) 後天性機能低下により、成人性粘液水腫を引き起こす。                      (4) 慢性甲状腺炎は、橋本病と呼ばれる。                      (5) 甲状腺がんの組織型では、乳頭がんが最も多い。</p>	<p><b>問 33</b> 内分泌疾患と血液検査所見の組合せである。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>○(1) バセドウ病 ————— 甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体抗体の陽性                      (2) 橋本病 ————— LDL コレステロール値の低下                      (3) 原発性アルドステロン症 — レニン値の上昇                      (4) クッシング症候群 ————— カリウム値の上昇                      (5) 褐色細胞腫 ————— カテコールアミン値の低下</p>
<p><b>363-33</b> 交感神経の興奮による作用である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 瞳孔の収縮                      (2) 気管支の収縮                      (3) 心拍数の減少                      ○(4) 粘膜の血管の収縮                      (5) インスリン分泌の促進</p>	<p><b>問 34</b> 交感神経の興奮で起こる反応である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 瞳孔は、縮小する。                      (2) 気管支は、収縮する。                      (3) 肝臓のグリコーゲン分解は、抑制される。                      (4) 皮膚の血管は、拡張する。                      ○(5) 発汗する。</p>
<p><b>364-38</b> 血球と血球の産生を促進するものの組合せである。誤っているのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 赤血球 ————— エリスロポエチン                      (2) 血小板 ————— トロンボポエチン                      (3) 好中球 ————— G-CSF (顆粒球コロニー刺激因子)                      (4) 好酸球 ————— アレルギー反応                      ×(5) 好塩基球 ————— 再生不良性貧血</p>	<p><b>問 38</b> 血球に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) 赤血球には、ミトコンドリアが存在する。                      (2) 好中球は、抗体を産生する。                      (3) B 細胞は、胸腺で成熟する。                      ○(4) 好酸球は、アレルギー反応に関与する。                      (5) 血小板には、核が存在する。</p>
<p><b>362-40</b> 免疫グロブリンについての記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>(1) IgA は、胎盤を通過する。                      ○(2) IgG は、免疫グロブリンの中で血中濃度が最も高い。                      (3) IgE は、母乳に多く含まれる。                      (4) IgM は、I 型アレルギーに関与する。                      (5) IgD は、分子量が最も大きい。</p>	<p><b>問 40</b> 免疫に関する記述である。最も適当なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>○(1) 消化管粘膜には、非特異的防御機構が認められる。                      (2) IgG による免疫は、非特異的防御機構である。                      (3) IgA は、I 型アレルギーに関与する。                      (4) IgM は、胎盤を通過する。                      (5) 血漿中に最も多く存在する抗体は、IgE である。</p>



362-41

自己免疫疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 全身性エリテマトーデスは、男性に多い。  
 (2) シェーグレン症候群では、唾液分泌が増加する。  
 ○(3) 強皮症では、嚥下困難がみられる。  
 (4) 自己免疫性溶血性貧血では、先天的な血色素異常がみられる。  
 (5) アジソン病では、副腎皮質ホルモンの分泌亢進がみられる。



問 41

自己免疫疾患に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 全身性エリテマトーデスは、男性に多い。  
 (2) 全身性エリテマトーデスは、日光浴で寛解する。  
 (3) 1型糖尿病では、インスリン分泌が亢進する。  
 ○(4) 強皮症では、レイノー現象がみられる。  
 (5) シェーグレン症候群では、唾液分泌が増加する。

361-62

微生物利用食品と用いる微生物との組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 糸引き納豆 —— 酢酸菌  
 (2) 発酵パン —— こうじかび  
 (3) ビール —— 乳酸菌  
 ○(4) ワイン —— 酵母  
 (5) かつお節(枯節) —— 納豆菌



問 61

発酵食品とその製造に関わる微生物の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) ワイン —— 枯草菌  
 (2) ビール —— 麦角菌  
 (3) 食酢 —— 乳酸菌  
 (4) 糸引き納豆 —— 酵母  
 ○(5) 味噌 —— こうじかび

362-69

摂食の調節に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 ○(1) 血中遊離脂肪酸濃度の上昇は、摂食中枢を刺激する。  
 (2) 血中グルコース濃度の上昇は、空腹感を生じさせる。  
 (3) 胃壁の伸展は、空腹感を生じさせる。  
 (4) グルココルチコイドは、摂食抑制物質である。  
 (5) レプチンは、摂食促進物質である。



問 69

食欲を促進する要因である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 満腹中枢の興奮  
 (2) 血中グルコース濃度の上昇  
 ○(3) 血中遊離脂肪酸濃度の上昇  
 (4) レプチン分泌量の増加  
 (5) 胃壁の伸展

363-71

糖質の代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 解糖系は、ミトコンドリア内膜で行われる。  
 (2) クエン酸回路は、嫌気的条件下で促進される。  
 ○(3) グリセリンは、糖新生の材料として利用される。  
 (4) グルクロン酸経路(ウロン酸回路)は、リポースを産生する。  
 (5) ペントースリン酸回路は、ATPを産生する。



問 71

糖質代謝に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 空腹時は、筋肉への血中グルコースの取り込みが亢進する。  
 (2) 空腹時は、肝臓でのグリコーゲン分解が抑制される。  
 ○(3) 空腹時は、グリセロールからのグルコース合成が亢進する。  
 (4) 食後は、乳酸からのグルコース合成が亢進する。  
 (5) 食後は、GLP-1(グルカゴン様ペプチド-1)の分泌が抑制される。

362-74

たんぱく質の評価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) アミノ酸価は、食品たんぱく質の生物学的評価法の一つである。  
 (2) アミノ酸インバランスは、不可欠アミノ酸の過剰摂取により起こる。  
 (3) 植物性たんぱく質は、グリシンが制限アミノ酸であるものが多い。  
 ○(4) 正味たんぱく質利用率は、摂取された窒素量のうち、体内に保留された割合を示す。  
 (5) 生物価の算出には、尿中窒素量の測定を必要としない。



問 73

食品たんぱく質の評価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) アミノ酸価は、食品たんぱく質の生物学的評価法の一つである。  
 (2) たんぱく質効率(PER)は、窒素出納を指標として求める。  
 (3) 生物価は、体重変化を指標として求める。  
 ○(4) 正味たんぱく質利用率(NPU)は、生物価に消化吸収率を乗じて求める。  
 (5) 無たんぱく質食の摂取時は、尿中への窒素排泄がみられない。

361-78

ビタミンの栄養に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 ○(1) たんぱく質の摂取量が増加すると、ナイアシンの必要量が減少する。  
 (2) 日光を受ける機会が少ないと、ビタミンDの必要量が減少する。  
 (3) 不飽和脂肪酸の摂取量が増加すると、ビタミンEの必要量が減少する。  
 (4) エネルギーの消費量が増加すると、ビタミンB<sub>2</sub>の必要量が減少する。  
 (5) 核酸の合成が亢進すると、葉酸の必要量が減少する。



問 77

水溶性ビタミンに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) ビタミンB<sub>1</sub>の要求量は、たんぱく質摂取量に比例する。  
 (2) ビタミンB<sub>2</sub>の補酵素型は、ピリドキサルリン酸である。  
 (3) ビタミンB<sub>12</sub>は、分子内にモリブデンを含有する。  
 ○(4) 葉酸は、核酸合成に必要である。  
 (5) ビオチンの吸収は、アビジンにより促進される。

361-79

ミネラルに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 鉄は、グロビンの構成成分である。  
 ○(2) 銅は、スーパーオキシドジスムターゼ(SOD)の構成成分である。  
 (3) セレンは、サイロキシンの構成成分である。  
 (4) 亜鉛が欠乏すると、味覚の感受性が上がる。  
 (5) カルシウムの吸収は、リンの摂取が多いほど促進する。



問 79

微量ミネラルに関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 鉄は、グルタチオンペルオキシダーゼの構成成分である。  
 (2) 亜鉛は、甲状腺ホルモンの構成成分である。  
 ○(3) 銅は、スーパーオキシドジスムターゼ(SOD)の構成成分である。  
 (4) セレンは、シトクロムの構成成分である。  
 (5) クロムは、ミオグロビンの構成成分である。

362-185

「授乳・離乳の支援ガイド(2019年改定版)」に示されている、生後7か月頃の児に与える食事における調理形態の目安である。最も適切なものはどれか。1つ選べ。  
 (1) なめらかにすりつぶした状態  
 ○(2) 舌でつぶせる固さ  
 (3) 歯ぐきでつぶせる固さ  
 (4) 歯ぐきで噛める固さ



問 90

生後7、8か月を目安に開始する離乳食である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。  
 (1) 果汁などの液体  
 (2) なめらかにすりつぶした状態のもの  
 ○(3) 舌でつぶせる固さのもの  
 (4) 歯ぐきでつぶせる固さのもの  
 (5) 歯ぐきで噛める固さのもの

362-93

更年期女性の生理的变化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 卵巣での卵胞数は、増加する。
- (2) 血中卵胞刺激ホルモン (FSH) の分泌は、上昇する。
- (3) 血中 HDL - コレステロール値は、上昇する。
- (4) 血中 LDL - コレステロール値は、低下する。
- (5) 骨形成が骨吸収より優位になる。



問 92

更年期の女性にみられる生理的变化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 黄体形成ホルモン (LH) 分泌量は、減少する。
- (2) 卵胞刺激ホルモン (FSH) 分泌は、亢進する。
- (3) 一酸化窒素合成は、亢進する。
- (4) 骨形成は、骨吸収を上回る。
- (5) 血中 LDL コレステロール値は、低下する。

361-94

習慣的な運動によって起こる変化である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 最大酸素摂取量の増加
- (2) 骨形成の抑制
- (3) 筋肉のグルコースの取り込みの低下
- (4) インスリン感受性の低下
- (5) サルコペニアの促進



問 96

習慣的な持久的運動による生理的变化に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) インスリン抵抗性は、増大する。
- (2) 血中 HDL コレステロール値は、低下する。
- (3) 安静時血圧は、上昇する。
- (4) 骨密度は、低下する。
- (5) 最大酸素摂取量は、増加する。

362-104

高齢者を対象にたんぱく質の適正摂取を目的とした栄養教育を実施することとなった。グループダイナミクスを活かした栄養教育の計画案として、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 栄養改善教室を開催し、参加者同士が家庭で作っている肉料理のレシピを共有する。
- (2) 医師と管理栄養士がシンポジストとなり、たんぱく質の必要性についてシンポジウムを開催する。
- (3) 管理栄養士が居宅に訪問し、卵料理の調理法を教育する。
- (4) 有名料理研究家を招き、豆腐を使った料理教室を開催する。



問 106

産院の「プレママ教室」において、適正な体重増加に向けて、参加者のグループダイナミクス効果が期待できる取組である。最も適切なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 産院に通う出産経験者の体験談を聞いてもらう。
- (2) 教室の修了生に参加してもらい、個別に参加者の相談に乗ってもらう。
- (3) 参加者同士で、行動目標の実践に向けた話し合いをしてもらう。
- (4) 各参加者に行動目標を自己決定させ、取り組んでもらう。

363-111

診療報酬における栄養食事指導料の算定に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 入院栄養食事指導料 1 の初回指導時間は、20 分以上である。
- (2) 集団栄養食事指導料の対象は、入院患者に限定される。
- (3) 外来栄養食事指導料 1 の算定回数は、初回月のみ 3 回までである。
- (4) 在宅患者訪問栄養食事指導料 1 は、情報通信機器を使用した指導ができる。
- (5) 外来栄養食事指導料 1 を算定した患者に対して、同一日に集団栄養食事指導料を併せて算定することができる。



問 112

外来栄養食事指導料の算定に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 初回の指導時間は、概ね 20 分以上で算定できる。
- (2) 集団栄養食事指導料を、同一日に併せて算定できる。
- (3) BMI27.0kg/m<sup>2</sup> の肥満者は、算定対象となる。
- (4) がん患者は、算定対象とならない。
- (5) 7 歳の小児食物アレルギー患者は、算定対象とならない。

362-114

成分栄養剤に含まれる栄養素である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) マルトース
- (2) でんぷん
- (3) アミノ酸
- (4) ペプチド
- (5) たんぱく質



問 114

経腸栄養剤の種類とその特徴に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 半固形栄養剤は、胃瘻に使用できない。
- (2) 消化態栄養剤の糖質は、でんぷんである。
- (3) 成分栄養剤の窒素源は、アミノ酸である。
- (4) 成分栄養剤の脂肪エネルギー比率は、20% E である。
- (5) 成分栄養剤は、半消化態栄養剤より浸透圧が低い。

364-118

ビタミン・ミネラルとその欠乏症に関する組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン A —— 壊血病
- (2) ビタミン B<sub>12</sub> —— ウェルニッケ脳症
- (3) 鉄 —— ヘモクロマトーシス
- (4) 亜鉛 —— 皮膚炎
- (5) カルシウム —— 尿路結石



問 118

ビタミン、ミネラルとその欠乏により生じる疾患の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン E —— 壊血病
- (2) ビタミン B<sub>2</sub> —— ウェルニッケ脳症
- (3) 鉄 —— ヘモクロマトーシス
- (4) 亜鉛 —— 皮膚炎
- (5) 銅 —— ウィルソン病

363-120

糖尿病治療に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 補食は、禁止である。
- (2) 超即効型インスリン注射は、食後 30 分以上経ってから行う。
- (3) SGLT2 阻害薬の服薬開始時は、脱水のリスクが高まる。
- (4) 有酸素運動は、インスリン感受性を低下させる。
- (5) 糖尿病食事療法のための食品交換表では、1 単位を 60kcal と定められている。



問 120

糖尿病治療に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 糖尿病食事療法のための食品交換表は、1 型糖尿病患者には使用しない。
- (2) シックデイでは、水分の摂取量を制限する。
- (3) α-グルコシダーゼ阻害薬は、食後に服用する。
- (4) SGLT2 阻害薬服用により、尿糖陽性となる。
- (5) 有酸素運動は、インスリン感受性を低下させる。

昨年度の日本医歯薬研修協会の  
模擬試験で出題した問題



第 36 回国家試験出題問題

363-124

循環器疾患とその栄養管理に関する組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 脳出血 ————— 低たんぱく質食
- (2) 狭心症 ————— 高炭水化物食
- (3) 心筋梗塞 ————— 低カリウム食
- (4) 心房細動 ————— 低リン食
- (5) うっ血性心不全 ——— 減塩食



問 124

うっ血性心不全患者において、前負荷を減らす栄養管理である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) たんぱく制限
- (2) 乳糖制限
- (3) 食物繊維制限
- (4) 食塩制限
- (5) カリウム制限

361-133

53歳、男性。胃全摘術を7年前に受けている。4週間前から、動悸、息切れ、舌の痛みを感じ、また、1週間前からは、四肢のしびれ、歩行障害が出現した。眼瞼結膜蒼白の所見あり。血清鉄値、フェリチン値は正常であった。この患者が不足していると考えられる栄養素である。最も適切なものはどれか。1つ選べ。

- (1) 鉄
- (2) 葉酸
- (3) ビタミン B<sub>6</sub>
- (4) ビタミン B<sub>12</sub>



問 130

60歳、男性。胃全摘術後10年を経過し、貧血と診断された。ヘモグロビン値 10.2g/dL、フェリチン値 200ng/mL (基準値 15~160ng/mL)、MCV 110fL (基準値 79~100fL)、MCHC 31% (基準値 26.3~34.3%)。この貧血の原因として考えられる栄養素である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) ビタミン B<sub>1</sub>
- (2) ビタミン B<sub>12</sub>
- (3) ビタミン C
- (4) カルシウム
- (5) 鉄

364-140

健康増進法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 国民の健康増進の基本的な方針を定めるのは、内閣総理大臣である。
- (2) 健康診査の実施等に関する指針を定めるのは、都道府県知事である。
- (3) 食事摂取基準を定めるのは、厚生労働大臣である。
- (4) 市町村に市町村健康増進計画の策定を義務付けている。
- (5) 特定給食施設への栄養士の配置を義務付けている。



問 141

健康増進法で定められている事項のうち、厚生労働大臣が行うものである。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 都道府県健康増進計画の策定
- (2) 国民健康・栄養調査における調査世帯の指定
- (3) 特定給食施設に対する勧告
- (4) 特別用途表示の許可
- (5) 食事摂取基準の策定

364-146

食事調査における摂取量の変動に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 特殊な行事による食事内容の変動は、個人間変動である。
- (2) 季節による食事内容の変動は、個人間変動である。
- (3) 個人内変動の程度は、各栄養素で同一である。
- (4) 個人内変動は、日間変動を含む。
- (5) 個人による摂取量や摂取状態の差は、個人内変動である。



問 146

食事調査における食事摂取量の変動と誤差に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 個人内変動は、集団内における個人の違いを示す。
- (2) 日間変動は、個人内変動の1つである。
- (3) 系統誤差は、調査日数を増やすことで小さくすることができる。
- (4) 偶然誤差とは、結果が真の値から一定方向へずれることをいう。
- (5) 過小申告の程度は、BMIが低い者ほど大きい。

364-148

日本人の食事摂取基準(2020年版)を活用した地域集団における食事摂取量の評価目的とその指標の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取不足の評価 ——— 推定エネルギー必要量(EER)を下回る者の割合
- (2) エネルギー過剰摂取の評価 ——— 推定エネルギー必要量(EER)を上回る者の割合
- (3) 栄養素の摂取不足の評価 ——— 推定平均必要量(EAR)を下回る者の割合
- (4) 栄養素の過剰摂取の評価 ——— 耐容上限量(UL)付近の者の割合
- (5) 生活習慣病の予防を ——— 目標量(DG)と摂取量平均値との差



問 150

日本人の食事摂取基準(2020年版)に基づいた集団の食事摂取状況の評価に関する記述である。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) エネルギー摂取の過不足の評価では、集団のBMIの平均値が目標とする範囲外にあるかを確認する。
- (2) 栄養素の摂取不足の評価では、摂取量がRDAを下回る者の割合を算出する。
- (3) 栄養素の摂取不足の評価では、摂取量がAIを下回る者の割合を算出する。
- (4) 栄養素の過剰摂取の評価では、摂取量がULを上回る者の割合を算出する。
- (5) 生活習慣病の発症予防を目的とした評価では、集団の摂取量の平均値がDGの範囲外にあるかを確認する。

362-156

給食施設における経営管理の機能の組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 計画 ————— 毎日の報告システムを構築する。
- (2) 組織化 ————— 調理従事者に洗浄の責任を委任する。
- (3) 指揮・命令 ——— 今後1か月の戦略を立てる。
- (4) 統制 ————— 管理栄養士の職務の責任と権限を定義する。
- (5) 調整 ————— 計画と実施との適合性を確認する。



問 156

コンベンショナルシステムからセントラルキッチンシステムに移行することになった。移行計画と経営管理のプロセスとの組合せである。最も適当なのはどれか。1つ選べ。

- (1) 経営方針に基づく移行計画の策定 ————— 指揮
- (2) 移行計画を実行するための担当業務の明確化 ——— 計画
- (3) 移行計画の目標に向けた指導 ————— 調整
- (4) 移行計画進行中に発生した問題の ————— 組織化  
担当者間での協議
- (5) 移行計画進行中の、経営方針に ————— 統制  
適合しない実施活動の制限